



進路報告会が始まりました



今年も3年生がさいたま桜での3年間の自分の進路活動を振り返り、後輩達に向けて発表する進路報告会が始まりました。3年生は単に就職先、進路先を発表するだけではなく、3年間の実習歴とそこから学んだこと、進路先の選択理由や社会人に向けての決意表明などをプレゼンテーションします。失敗も勇気をもって伝え、課題に前向きに向う努力の過程はとても立派でした。多くの皆さんに参加いただきありがとうございました。

3年生の言葉や皆さんからの感想の一部を紹介します。

□生徒の報告から

- 決意「一緒に働きたいと思ってもらえる社会人になる」思いやりや協調性を大切にしたい。
- 後輩へ「なんでも挑戦してみよう」すべてが報われるわけではないが、必ずプラスになる。

□保護者の皆様から

- 10分程度の報告では伝えきれない努力や苦労があったのだろうと奥深さを感じた。
- 先生からの少し辛口の質問も思いやりがあり、その先を応援する思いが感じられたのが印象的。
- 就職に向けたやる気スイッチが親に入るので、多くの1、2年生の親御さんにも聞いてもらいたい。
- 生徒の勇気ある発表に感動した。先生のコメントも温かく胸が熱くなった。
- 改めて、基本的な生活の安定がとても重要ということがよく分かった。
- 企業から採用する側の気持ちを聞いたことが大変良かった。
- 下級生にとって生の話を聞けることはためになる。これからも十分な時間を取って続けてほしい。
- 実習から就職までの流れがわかり、課題を先生達と話し合っ改善していく話が参考になった。
- 一人一人の努力、苦労がわかる唯一の会だと思い、素晴らしい会だと思う。

□参観された企業の方から(就労支援アドバイザー様・社会人講師)

- 就職がゴールではない。長く働くために毎日の努力が必要である。
- 好きなこと≠向いていること。小さな喜びを1つ1つ重ねてその仕事が好きになる。

□先生方から

- 学校生活の安定と、素直な姿勢で努力できることが何より大切である。作業能力<人間性。
- 真面目さ、素直さは武器になる。(ある社長さんから「彼のような人と一緒に働きたい。」と言われた。)
- 就職してからの課題は学校時代と同じ。1、2年生は課題に取り組む時間と環境がある今を大切に。